

# 外来語と英語教育(6)

選定語彙について

1983年2月

この研究に携わった研究員

森永 誠	石津谷 進	安原 修三
長 勝彦	後関 正明	青木 弘子
備里川 正人		

目 次

レジュメ	75
1. 語彙	75
2. 基礎語彙・基本語彙・選定語彙	75
3. 選定語彙リストみだし語	76
4. 意味別頻度	77
5. 12のリストの特徴	77
6. Main List	80
1) リストのよみかた	80
2) 総語数・Range別語数等	81
3) Main List	
7. Appendix 1	81
1) リスト別語数および総語数	81
2) Range 1にみられる特徴	82
3) Range 1のList	82
8. Appendix 2 「外来語と英語教育6」	83
1) Appendix 2の目的	83
2) リストのよみかた	83
3) List	83
4) Range 1～12かさなる外来語	84
後記	84
参考文献	

目次は発表時のもので、ページの示されていない項目は、このダイジェスト版では省略されています。

## レジュメ

外国語学習のためには学習者の負担を軽減させるために語彙制限が必要である。そのために、また英語を母語とするものも対象にふくめて、これまで多様な語彙リストが準備されている。その多様な語彙リストはそれぞれの目的、みだし語のたてかた、およびリストの構成で差異がみられる。また選択された語の意味別頻度・意味別価値を考慮したリストと、意味に関する統計が考慮されていないリストがある。このレポートは上記の問題点を問題点として指摘すると同時に、12の語彙リストについて、それぞれの語の意味別価値、およびそれぞれの語が12のリストのうち、いくつのリストで「みだし語」としてでているかを整理することを目標とする。Main List と Range1の List は、12の多様なリストを整理したものである。Interim Report とした理由は、将来選定基本語彙リストを準備することを前提として研究をすすめているからである。

レポートに Appendix 1・2がつけられている。Appendix 1は上記の12のリストに1回だけ「みだし語」にでている語を各リストごとに整理し、リストの特徴の1部をみることにしたものである。Appendix 2は、これまでに研究部が発表した「外来語と英語教育 1～5」にあらわれた外来語と『フォニックスのグレーディング 1・2 - 約500語「パーマー賞受賞校の実践記録」『大修館』を整理し、この約700語が上記のリストとどの程度かさなっているか、を調査したものである。

## 1. 語彙

語彙とはなにか。新明解国語辞典によると～

- 以下省略 -

Longman Dictionary of Contemporary English :1978 によると～

- 中略 -

ここでは「複数の国、ある特定の国、地域、時代、使用する人、口語・文語、使用目的などを限定して、そこで使われるみだし語の集合」を語彙とよぶこととする。

## 2. 基礎語彙・基本語彙・選定語彙

スワデシュの「基礎語彙表」は数詞、人体の名称、動物、自然物、親族語、基本的な動詞等215語からなり、同じ祖語からわかれた同系の言語に共通して残存している語の残存率と経過年数の関係を推定するための語彙表であり、服部四郎氏が紹介した用語であるという。基本語彙 Basic Vocabulary と区別しにくい「基礎語彙」という用語は、異言語との語彙比較使用することとし、外国語教育を目的とするときには、使わないこととする。

外国語教育に使用する語彙表については、複数の語彙表をあつかうときは広義の「選定語彙」の用語をもちいる。狭義の最小語彙、例えば Ogden の Basic words 等について使用するときには「基本語彙」の用語を用いることとする。

### 3. 選定語彙リストの見出し語

語を客観的に明確に定義することは困難である。「みだし語」として問題となる項目をここではあげて、語彙選定としては経験的な方法から、まずはいることとする。問題となる項目のうち、このレポートと関係がある項目を以下にあげる。

1) 接尾辞・接頭辞をふくむ語も「みだし語」として調査する。今回は接尾辞・接頭辞のみを「みだし語」としてとりあげないが、P. 9の注でふれる。

2) インフレクションについて

(1) 名詞・動詞・形容詞の規則変化は、「みだし語」から2文字さげて整理する。

例 boys, played, playing, older, oldest

注 上記のうち、品詞がすでにかかわっている語、意味項目がかかわっている語については「みだし語」に入れることも考慮する。

例 cloth - clothes, marry - married, act - acting

(2) 名詞・動詞・形容詞の不規則変化は、「みだし語」から2文字さげて整理する。

例 leaves, broke, flown, farther, furthest

注1. 動詞について、品詞がすでにかわっている語、意味項目がかわっている語については「みだし語」に入れることも考慮する。

例 speak - spoken, build - building

注2. 名詞・形容詞の不規則変化については、みだし語から2文字さげて整理するが、「みだし語」に入れることを前提とする。

例 man - men, well - better, best

(3) 法助動詞については、すべて「みだし語」とする。

例 can - could

(4) 代名詞の変化は、すべて「みだし語」とする。

例 he, his, him, she, her...

3) phrasal verb および prepositional phrase は「みだし語」から2文字さげて整理する。

例 get up, in time

4) その他の熟語・連語、「みだし語」から2文字さげて整理するが、「みだし語」に入れることも考慮する。 例 because of, not only...but also,

5) 名詞句・形容詞句については、1語あるいはハイフンでつながれている語は「みだし語」とする。2語にわかれている語は2文字さげて整理するが、「みだし語」に入れることも考慮する。 例 department store, so-called

6) 固有名詞は「みだし語」から2文字さげて整理するが、「みだし語」に入れることも考慮する。 例 Alaska, France

7) 略語は「みだし語」から2文字さげて整理するが、「みだし語」に入れることも考慮する。 例 p.m., Mr., Mt.,

8) 短縮形は「みだし語」から2文字さげて整理するが、「みだし語」に入れることも考慮する。 例 Ill

9) 数詞、週や月の名称、計量の名称、および国際的となっていると、考えられる語も「みだし語」とする。固有名詞は「みだし語」から2文字さげて整理する。

例 one, Sunday, January, France

注1. 上記の1)~9)についての整理のしかたは「中間報告」でとられた方法である。

注2. 「みだし語」から2文字さげて整理した語のあつかいについては、今回は総語数にいてあるが、基本語彙/選定語彙を選ぶときの視点となる。

注3. 9)の「数詞、週や月の名称、計量の名称、および国際的となっていると、考えられる語」は、いくつかの語彙リストでは「既習語」と同等のあつかいをうけている。その意味では、語の意味に関するかぎり日本人にとっては「外来語」とのいれかえが可能であろう。しかも「外来語」は「みだし語」のかなりの部分で重複していると考えられる。

#### 4. Semantic Count (語、あるいは語中の意味別頻度/意味の統計)

語の意味別頻度については、その重要性に着目して、外来語と英語教育 - 4「英語の意味別頻度と、外来語・英語の意味のかさなり」で、その一部分を報告した。そこで使用した資料は A GENERAL SERVICE LIST OF ENGLISH WORDS with semantic frequencies...:MICHEL WEST : LONGMAN であった。

今回は1980年初版の Cambridge English Lexicon:Roland Hindmarsh:Cambridge のリストの Level 1~5 を semantic count の根拠とした。リストは易から難に1~5, とレベルがしめされている。それぞれのレベルの語数、および総語数は以下のように p. XIII でしめされている。

Level	total	Cumulative total	Level	total	Cumulative total
1	598	598	4	1034	3241
2	617	1215	5	1229	4470
3	992	2207			

語についてはレベルと記述の例としては fire で理解されたい。(P. 55)

##### 1. fire

- 1. n. element : fire and water
- 2. v. shoot : fire a gun
- 6. n. strong emotion : eyes full of fire
- 7. v. set fire to : fire a haystack
- 7. v. use fuel : fire a boiler

注1. Cambridge English Lexicon (= CEL) はイギリス・およびイギリスにちかいヨーロッパでの意味別レベルの判断の基準となっている語もふくんでいることは、留意すべきである。日本で学習するものにとっては、日本の地域性を考慮した語彙選択、レベルの修正もくわえられるべきであろう。

注2. fire の項の6, 7 はレベルをしめすが、みだし語にはあらわれない。

#### 5. 調査の対象にえらんだ12の語彙の特徴

本研究部の選定語彙/基本語彙をえらぶまえに、いくつかの語彙リストがどのように選択されているかを調査することが必要である、と考えた。スワデシュの基礎語彙から

はじめたが、これはのぞくこととし、つぎの12のリストを対象として選んだ。それぞれのリストの名称、語彙選択の(1)目的、(2)総語数、(3)その他の特徴等の一部はつぎのようになっている。

1) Longman (代表編者 P. Procter) …… List of words used in the dictionary

(1) defining vocabulary

このリストは Longman Dictionary of Contemporary English(1280頁)の「みだし語」を記述する語彙リストである。この辞書にはリスト以外の語は SMALL CAPITAL LETTER でしめされている。

(2) 約2,000語

(3) 接尾語、接頭語が「みだし語」にふくまれている。辞書は平易な英語で明確に、わかりやすく記述されている。P. 2 Vocabulary の記述参照。

2) M. West…The Defining Vocabulary

(1) defining dictionary

このリストは The New Method English Dictionary(299頁)の「みだし語」を記述する語彙リストである。ball は round object used in play ; any round thing の意味でもちい、舞踏会の意味ではもちいない。語の意味項目がしばられている。

(2) 1,455語 (3) 語について bear<sup>1,2</sup>などのように意味項目がしばられている。

3) L. A. Hill…1000 word Vocabulary

(1) Reading Vocabulary (2) 1,000語

(3) Note としてつぎのように付記されている。

This vocabulary does not contain numerals , names of the days the week , names of the months or proper nouns and adjectives .

Not all cases of nouns and pronouns are given (e . g . boy stands for boy - boy's - boys - boys'); not all parts of verbs given (e . g . swim stands for swim - swims - swam - swum - swimming). Comparatives and superlatives of adjectives and adverbs are not given .

4) Ladder : 辞書の中で ~ の指定があり、List としてはまとめられていない。

(1) Reading Vocabulary

(2) のレベル = 1,000語 …The New Horizon Ladder Dictionary of the English Language  
のレベル = 1,116語 …Ladder English - Japanese Dictionary

(3) 辞書の「みだし語」のあとに、易から難の順に 0 ~ 5 のレベルがしめされている。United States Information Agency の調査による頻度数の順位をあらわす。接尾語、接頭語も「みだし語」にふくまれている。

5) C E L (=Cambridge English Lexicon) by Roland Hindmarsh

(1) Semantic count

注. C E L = a Lexicon worth teaching and learning at the intermediate level of FCE(FCE = The First Certificate in English)

(2) 1,215語 (Level 1・2の語数)

(3) 「みだし語」および語中の各意味に Level 1～5の意味の統計がつけられている。  
Appendix A～Xの資料が豊富である。参照 A, semantic count

6) Thorndike...The Teacher's Word Book of 30,000 Words

(1) 意味とは無関係に、語の頻度数により1,000語ずつのグループにわけ提示する。

(2) 1,110語 (First 1,000 Wordsおよび、付加された110語)

(3) 客観的方法による選定語彙である。

7) Ogden...Basic Englishの語表

(1) 最少語彙によって運用する自然言語の syntax の再構成。 (2) 850語

(3) 英語教授辞典(1982年、三省堂)によれば「日常事項に対して完全な表現能力をもった制限語彙として役立つことを目的とし、また一方英語国民にもその思想・観念を表現するための簡潔明快な手段として役立ち、修辞の奔放な使用を矯正し、意味論的に正常な軌道にのせようと試みている」とある。語表のうちの動詞をふくむ作用語100語(動詞16語、助動詞2語、前置詞その他)、性質語150語、事物語160語よりなる。

8) Richards...English Through Pictures Book, Book

(1) OgdenのBasic Englishの特徴をもっともいかした語彙をつかって、sen - sit(場面連合)のなかで教える最小語彙によって運用する自然言語の syntax の再編成。

(2) Book 310語、Book 436語。合計746語。

9) Palmer...ハロルド・イー・パーマー選 基本英語一千語

(1) 日本人の学生を対象とした oral method および読書用テキストのための語彙

(2) 1,521語

(3) パーマーは Interim Report on Vocabulary Selection の Main List に3千語をのせている。これをもとにして「基本英語一千語」として昭和17年から数回改定されてだされている。パーマーの三千語は、語彙選定に経験的方法をもちいているので、このリストの語彙も経験的語彙選択の方法をとっているといえよう。

10) Active Vocabulary...パーマーの「基本英語一千語」

(1) Productive Vocabulary (日本の高校生用の最小語彙) (2) 1,000語

(3) パーマーの「基本英語一千語」に150人日本の大学教師の意見をくわえたりリスト。冠詞、人称代名詞、月・週日の名称、数、物の名称等は、はぶかれている。

11) 「全英連・新基本英単語活用集」改訂版

(1) 中学生対象の基本語彙 (2) 1,050語 (3) 経験的語彙選定方法

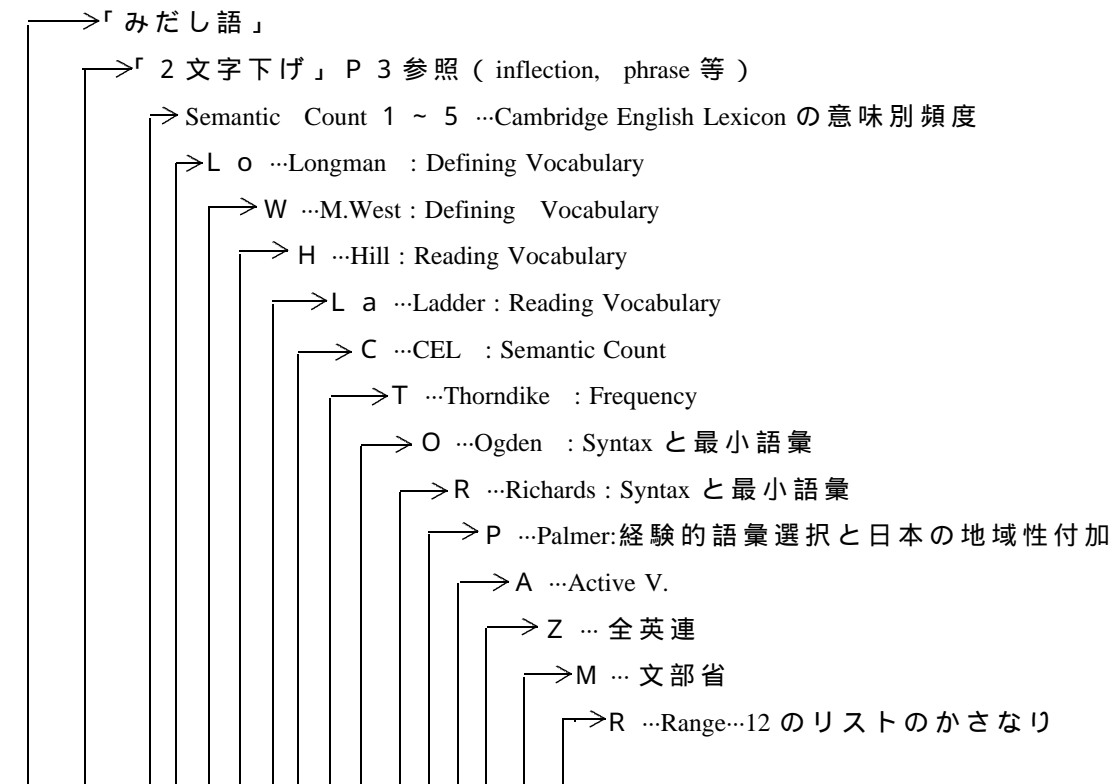
12) 中学校学習指導要領・別表1 . ....

- (1) 日本の中学生の必修語彙 (2) 490語
- (3) 検定教科書に語彙制限に関して規制力をもつ。

6 . Main List

ここでは上記12の語彙リストを「1)リストのよみかた」のようにならべ、そのかさなり(Range)と、意味別頻度(semantic count)、等がどのようなになっているかを、客観的にみることにする。かさなりについては紙面のつごう上 Range 1を Appendix 1として別にあつかうことにした。ここでは Range 2 ~ 12をあつかうこととなる。

1) リストのよみかた



	S	L	W	H	a	C	T	O	R	P	A	Z	M	R	
aim	3	o	o							o	o	o	o	4	aimはCELの意味レベル3 Longman, West, Palmer, Activeの4つのリスト
in	1	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	12	に あり、かさなりは4であることをしめす。
ran	.	.			o	o									ranは、みだし語から2字さげて記述。 ranはCELの意味レベルの記述なし。 (ただしrunのレベルは1)。かさなりは2をしめす

2) 総語数、および Range 別語数等

(1) 総語数について	みだし語	2字おち
Main List(Range 2 ~ 12)の総語数……	2,128語 ( 2,035語	+ 93語)
Appendix 1 (Range 1) の総語数……	987語 ( 795語	+ 192語)
合計……	3,115語 ( 2,830語	+ 285語)

12 ~ 1 の各語数と累積合計

Range	語数	累積合計	Range	語数	累積合計
12 の語数	158語	158語	6 の語数	152語	963語
11 " "	108 "	266 "	5 " "	166 "	1,129 "
10 " "	142 "	408 "	4 " "	215 "	1,344 "
9 " "	127 "	535 "	3 " "	296 "	1,640 "
8 " "	141 "	675 "	2 " "	488 "	2,128 "
7 " "	135 "	811 "	1 " "	987 "	3,115 "

(2) Range 2 ~ 12の総語数2,128語のアルファベット別語数

a … 134語	b … 149語	c … 171語	d … 108語
e … 73語	f … 132語	g … 67語	h … 92語
i … 47語	j … 21語	k … 23語	l … 79語
m … 96語	n … 54語	o … 39語	p … 164語
q … 10語	r … 98語	s … 268語	t … 138語
u … 26語	v … 18語	w … 106語	x … 0語
y … 13語	z … 2語		

注 接頭辞・接尾辞を「みだし語」としている語彙リストは以下のリストである。  
(今回は、この項目の整理は除外している。この項目をどうとりあつかうかは  
今後の問題として残すこととする)

Longman の List of words used in the dictionary

Ladder の The New Horizon Ladder Dictionary of the English Language .

注 Cambridge English Lexicon では Appendix W と X にまとめてある。

3) Main List

- 省略 -

7 . Appendix 1

Range1の語

1) リスト別語数および総語数

このRange 1 のリストは、12のリストに1回だけあらわれた語を、12の語彙リスト別に、a b c の順にならべたものである。語末の数字はCELのレベル1 ~ 5をあらわしたものである。0はCELの1 ~ 5のレベルでみられないことをあらわす。また、Range 2-12の Main List で2文字さげてあつかった熟語・連語等については、リストのあとに \* ( ) でまとめることにした。

Range 1 のリストにある12の語彙リストの「みだし語」の語数、および「みだし語から2文字さげ」で整理される inflection, phrasal verb, prepositional phrase, collocation 等の語数は以下の表のようになる。

リスト名	みだし語	みだし語から2文字さげ	計
Longman	306語	5	131
West	16語	0	17
Hill	53語	3	56
Ladder	62語	18	80
CEL	52語	74	126
Thorndike	13語	13	26
Ogden	48語	3	51
Richards	20語	63	83
Palmer	177語	8	185
Active	15語	3	18
全英連	31語	3	34
MEJ	0語	0	0
計	794語	193	987

注 みだし語、および2文字さげの項目は3) Range 1のリスト参照

## 2) Range 1にみられる特徴

(1) 「みだし語から2文字さげ」の語数が「みだし語にくらべ多い」

Range 1 … 「みだし語」794語：193語 「2文字さげ」80%：20%

Range 2～12… 「みだし語」2,035語：93語 「2文字さげ」96%：4%

(2) 「2文字さげ」の項が多いリストは以下のリストである。

CEL 74, Richards 63, Ladder 18, Thorndike 13, Palmer 8.

(3) 「2文字さげ」のリスト別の特徴は以下のとおりである。

CEL… 動詞句と前置句がそれぞれ約30, 固有名詞が7となっている。

Richards… inflection が60 (ing形35, 比較級・最上級が23,) である。

Ladder… 動詞の inflection 17, 過去形・過去分詞形がそのうち15。

Thorndike… 固有名詞6, そのうち人名が4～5。動詞の inflection が5。

Palmer… 動詞の inflection 5。

注 動詞の inflection としてあげた語も、ing形は名詞に、過去分詞形は形容詞になっているものが多い。さらに今後整理する必要がある。

(4) Range 1の各リストの語数とRange 1の総語数との比率は、32%～0%のひらきがある。Longman 32%、West 2%、Hill 6%、Ladder 8%、CEL 13%、Thorndike 3%、Ogden 5%、Richards 8%、Palmer 19%、Active 2%、全英連 3%、MEJ 0%

## 3) Range 1のリスト

Longman…306語 (2文字さげ…5語)

admit 3、advantage 3、advertize(se) 5、ahead 3、・・・ - 以下省略 -

M. West…17 words

bushy 0、continuous 4、costly 5、countless 0、・・・ - 以下省略 -

Hill…53語(2文字さげ…3語)

airforce 0、apartment 4、baggage 3、bandage 5、・・・ - 以下省略 -

Ladder…62語(2文字さげ…19語)

banker 5、bug 0、childhood 4、device 0、dusk 5・・・ - 以下省略 -

CEL…52語(2文字さげ…74語)

aircraft 2、airline 2、attractive 3、billion 2、・・・ - 以下省略 -

Thorndike…13語(2文字さげ…13語)

adult 4、beast 5、being 0、forth 0、grant 4、・・・ - 以下省略 -

Ogden…48語(2文字さげ…3語)

adjustment 0、advertisement 3、approval 5、argument 3・・・ - 以下省略 -

Richards…20語(2文字さげ…63語)

automobile 0、bookshelf 4、bookstore 0、breadbox 0、・・・ - 以下省略 -

Palmer…177語(2文字さげ…8語)

acting 0、additional 0、adviser 0、aged 0、agreeable 0・・・ - 以下省略 -

Active…15語(2文字さげ…3語)

accuse 4、album 4、boast 5、comic 0、confess 4、・・・ - 以下省略 -

Zen-Ei-Ren…31語(2文字さげ…3語)

baseball 0、bat 0、cafeteria 0、calendar 4、cherry 0、・・・ - 以下省略 -

MEJ…none

8. Appendix 2 「外来語と英語教育6」

1) 「外来語と英語教育 6」の目的は以下の3点にある。

- (1) 「外来語と英語教育 5」でのべたフォニックスのルールにしたがって整理した1音節語約500語のリストと、「外来語と英語教育 2」のリストBおよび、「外来語と英語教育 4」の のリストをある程度整理して提示する。リストBは、小学校の教科書および中学校の英語の教科書にあらわれた外来語1977年～78年に、小学校6年生を対象として通過率を調査したものである。「外来語と英語教育 4」の は「意味が英語と1対1の対応をする外来語」について、 は「英語の意味別頻度と外来語・英語の意味の重なり」についての調査である。データは小学校6年生対象のものに限ることとする。
- (2) 上記1のリストの外来語と、Main List および Appendix 1 . 「Range 1」のリストとかさなる語がどの程度ふくまれているかを調査する。
- (3) 以上の趣旨によって整理したりを提供する。

2) リストのよみかた

- (1) リストは(1)フォニックス・グレード1、(2)フォニックス・グレード2、(3)通過率50%以上、の3項目とする。
- (2) 語頭の数字1～5はCELのレベルをしめす。数字0の語はCELのレベル1～5にないことをしめす。語末の数字は小学校6年生の理解度=通過率をしめす。数字がつけられていない語は、調査されなかったことをしめす。( )内の数字は「

外来語と英語教育「4」の通過率、< >内の数字は通過率をしめす。

3) Selected Vocabulary: Loan Words

(1) フォニックス・グレード1(1音節)…78語(固有名詞1語、インフレクション2語) 4. base 100, 0. bat100, 1bed100, 3. bone, … - 以下省略 -

(2) フォニックス・グレード2(1音節)…421語(固有名詞2語、インフレクション1語) 0. ace, 5. arch, 1. back(73), 1. bag98, 0. balk, … - 以下省略 -

(3) 小学校6年生の通過率50%以上の語…215語(固有名詞20語)

2. adventure54, 3. advice83, 4. album98, 5. alphabet97, … - 以下省略 -

4) Main List(Range2-12)、およびAppendixのList(Range1)とかさなるAppendix2の語(外来語)

かさなる外来語の総数は512語で、そのうちわけは、以下のようになる。

Range12とかさなる外来語	48語	Range12の語数	158語
" 11	" 40 "	" 11	" 108 "
" 10	" 41 "	" 10	" 142 "
" 9	" 47 "	" 9	" 127 "
" 8	" 36 "	" 8	" 141 "
" 7	" 30 "	" 7	" 135 "
" 6	" 47 "	" 6	" 152 "
" 5	" 26 "	" 5	" 166 "
" 4	" 36 "	" 4	" 215 "
" 3	" 57 "	" 3	" 296 "
" 2	" 41 "	" 2	" 488 "
" 1	" 63 "	" 1	" 987 "
計	512 "	計	3,115 "

注. 外来語を「外来語と英語教育1~5」およびフォニックスの基本的ルールにあった1音節語にしぼったため、上記のようなデータがみられる。2音節以上の語を調査してくわえると、かさなる語は多くなると、考えられる。

後記

Morrisの「3つの集団からなる語彙」および、これを「学習進度に応じた四段階にわけた学習高原への適用が可能なグレーディングされた語彙」という考えかたは魅力があるが、そのような語彙リストをみつめることは、できなかった。また、カーネギー報告(Interim Report on Vocabulary Selection)や、Faucet & Makiの語彙表など、時間ぎれでおとした語彙リストがある。一方、12の語彙リストのなかには、いれる価値があるか、ないか、まよったものもある。

今回のレポートを中間報告としているのは、ちかい将来、日本の英語教育に有用な語彙リストを準備すべきである、という考えを前提としているからである。またその際、外来語英語がどれくらいあり、その位置づけをどのようにするか、また基本/選定語彙リストとのかさなりを、どのように考えればよいか、という問題も残っている。

参考文献  
- 省略 -